

談天

DANTEN



佐藤 湛彦

社団法人東北経済連合会 常任理事
環境資源エネルギー委員会 副委員長

地球温暖化はCO₂が原因か？

今年の夏は欧米を含めて世界的に猛暑だったが、その原因は異常気象だったということになるのだろうか、その異常気象が本当にCO₂による地球温暖化によって発生したのだろうか…多分、今後いろいろな原因分析がなされることと思うが…今回の猛暑はCO₂による地球温暖化が原因ではないだろうと思っている人は私だけだろうか。

地球温暖化の原因についてメディアはどちらかといえば「地球温暖化はCO₂が原因である」と報道しているが、ところが「そうでない」と言う学者も結構いるのに、メディアはあまり取り上げない。

地球温暖化は主に太陽活動の影響であると主張する学者も少なくない、宇宙線が地球に降り注ぐ量が減ったので雲の形成が妨げられ、直接日光が地上に届く量が増えた。太陽活動が活発になったから宇宙線の量が減ったというのである。これに対してまたある学者は温暖化は進んでいるが、これは何らかの原因による地球の周期であって、温室効果ガスとは関係がないと言っている。

その証拠は今から、1,000年前は現在と同じくらい温暖化しており、その後、寒冷化が進み1,700年代から温暖化に転じ、それが今も続いているということである。今から1,000年前の日本は当然、工業活動はなく平安時代です、カナダの北東に位置するグリーンランドはその名前のおり緑の島で牧草が生えていました、当時バイキングが住み、家畜を飼うほど暖かい気候だったそうである。

この温暖化の傾向はもちろん現代のような工業活動ではありません、この現実を知るだけでもCO₂だけで地球が温暖化しているというのは単純すぎるのではないだろうか。現在温暖化は進行中であるが、これは地球の持つ寒冷化と温暖化の繰り返しの中で起きている現象であってCO₂などによる温暖化への寄与はわずかであるということである。

要するに地球温暖化はCO₂など温室効果ガスに依るのではなく、太陽と地球の位置関係、あるいは太陽活動に多く依存していると主張している科学者が多数いることである。CO₂は典型的な温室効果ガスだけれど、地球で一番温室効果を発揮しているのは水蒸気で、温室効果の90～95%は水蒸気が受け持つということである。また、現在の温暖化の5/6は自然変動によるもので、CO₂による温室効果は1/6であることが証明されている。

アメリカは世界最大のCO₂排出国(25%)であるが、1997年の京都議定書を批准しなかったが、その理由はアメリカは地球温暖化の原因はCO₂でないと確信しているのか、あるいはIPPC(気候変動に関する政府間パネル)の発表(2007/2)を信用していないからでは…と思っているのは私だけだろうか…。

(東北発電工業株式会社 取締役会長・さとう きよひこ)